

## ハマスゲ (浜菅)

名前の意味：浜に生える菅の意味。

分類：単子葉類、カヤツリグサ科、カヤツリグサ属

(カヤツリグサ科の栽培植物：パピルス)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑の縁、砂浜

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：断面が三角形の茎、横に這う根茎、花火のような穂

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：退化してない

花の時期：8—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：カヤツリグサの小穂は長さ0.7-1.2cm、ハマスゲは1.5-3cm

また、ハマスゲの小穂は濃い赤色で、緑と茶の混じったカヤツリグサから区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)